

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第13週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< インフルエンザ > 第13週の全国レベルの定点当たり報告数は9.99で、第9週のピーク以降は大幅な低下が続いている



病原体情報
P.8-9

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.10-12

レプトスピラ症(2003年11月5日～2005年4月7日現在) / 同一検体から複数のウイルスが検出された感染性胃腸炎の散発事例 - 千葉市



海外感染症情報
P.13-14

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新 / スーダンでの髄膜炎疾患 - 更新 / スーダンとチャドでの髄膜炎疾患



感染症の話
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(13週)
P.16-22



13週のデータ
P.23-34



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第13週コメント> 4月7日集計分

全数報告の感染症

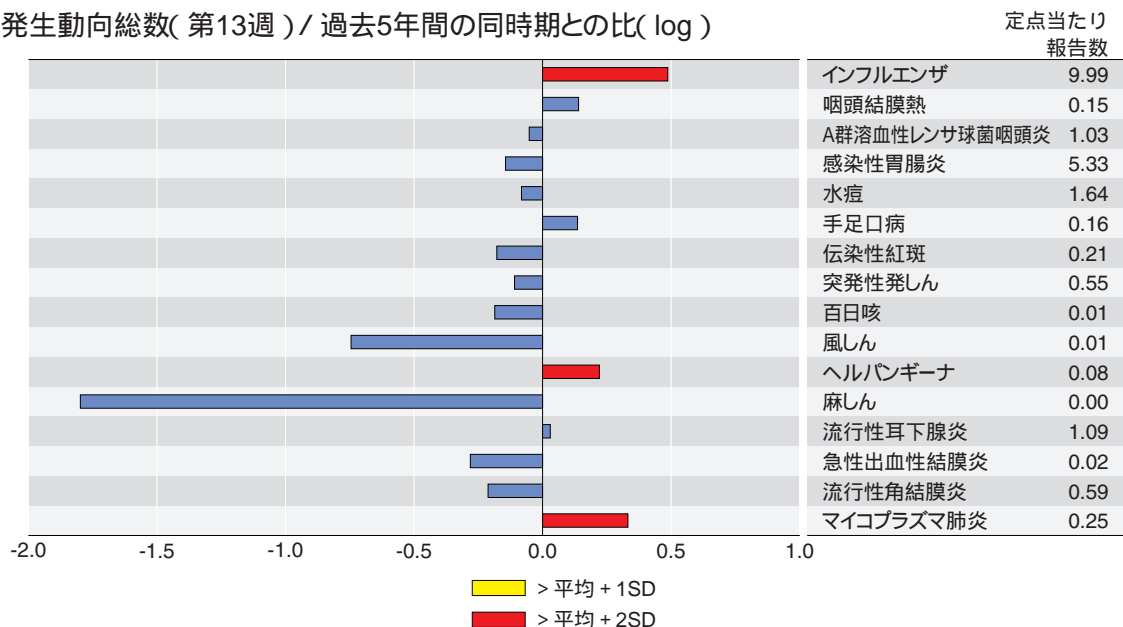
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: 台湾)
細菌性赤痢 20例(推定感染地域: 国内8例、インド8例、フィリピン1例、インドネシア1例、トルコ1例、疑似症1例)
腸チフス 2例(推定感染地域: ともにインド)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 34例(うち有症者21例)
報告の多い都道府県: 富山県(10例、飲食店における集団発生)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(18例)、O157 VT2(7例)、O26 VT1・VT2(3例)、O157 VT1(1例)、その他(5例)
年齢: 10歳未満(8例)、10代(3例)、20代(6例)、30代(8例)、50代(7例)、60代(2例)
 - 4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: インコ)
レジオネラ症 1例(70代)
E型肝炎 2例(推定感染地域: ともに国内、推定感染源: 猪肉1例、鹿肉1例(生食))
A型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例、中国1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例
推定感染地域: 国内5例、不明2例
推定感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間2例)、その他1例、不明3例
ウイルス性肝炎 2例(ともにB型__推定感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例)
クリプトスポリジウム症 1例(推定感染地域: インド)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群 14例(無症候11例、AIDS 2例、その他1例)
推定感染経路: 性的接触10例(異性間3例、同性間7例)、不明4例
推定感染地域: 国内12例、不明2例
梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候2例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
(遺伝子型: VanC__菌検出検体: 血液)
- (補)他に、ウイルス性肝炎1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(50代(死亡)、70代)、急性脳炎4例(B型インフルエンザウイルス3例(2歳、3歳、6歳)、病原体不明1例(1歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第13週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

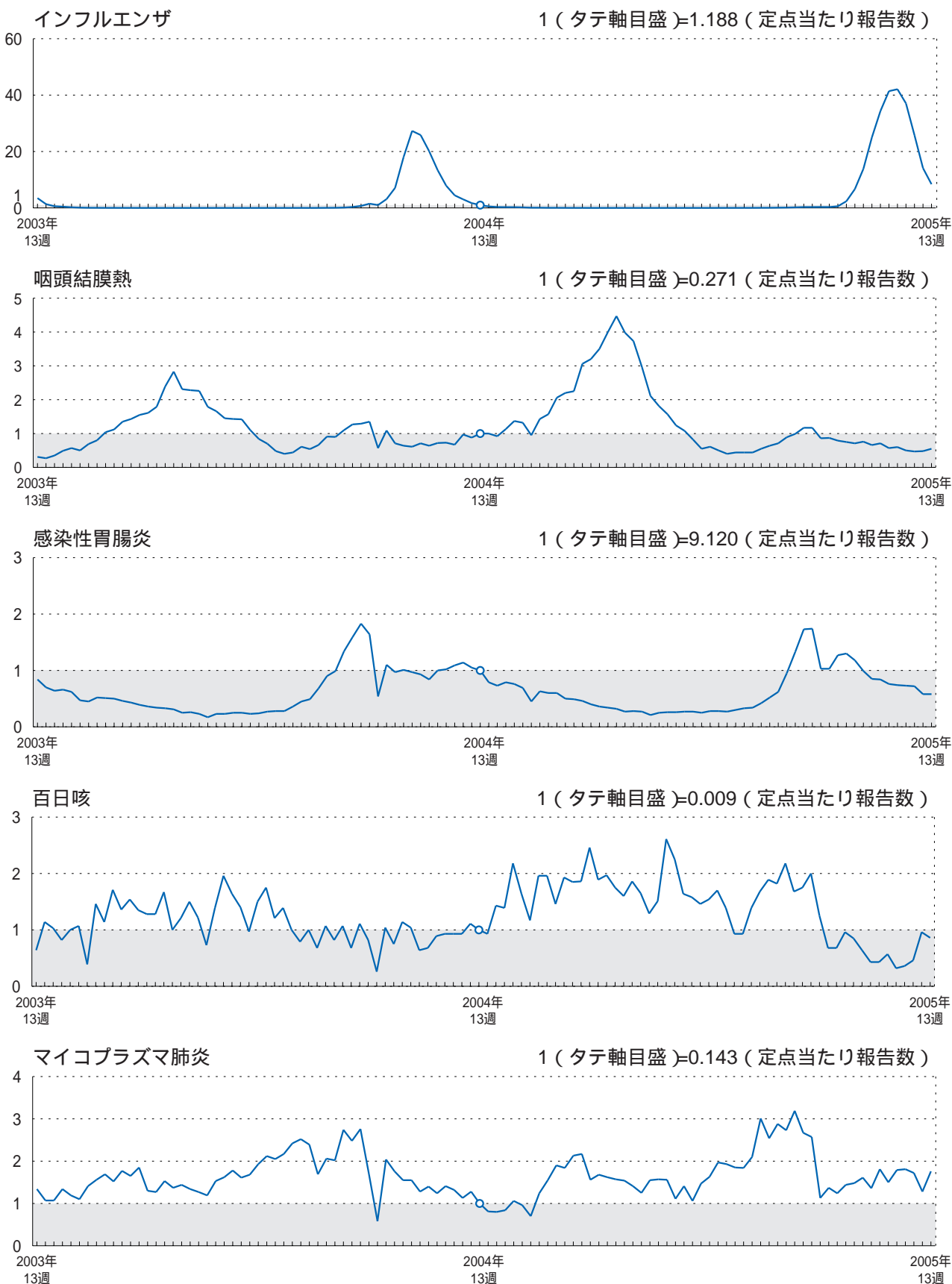
インフルエンザ定点報告疾患 : 定点当たり報告数は4週連続で大きく低下したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態は継続している。都道府県別では沖縄県(33.9)、秋田県(25.3)、福井県(21.9)、青森県(20.2)が多い。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(0.82)、新潟県(0.40)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.3)、青森県(2.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では宮崎県(14.4)、福井県(10.8)、石川県(9.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県(5.3)、宮崎県(3.9)、大分県(3.4)が多いが、沖縄県では第4週以降、全国で最も高い値が続いている。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では和歌山県(0.77)、徳島県(0.65)、佐賀県(0.65)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では千葉県(0.06)、奈良県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では宮城県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛媛県(0.92)、和歌山県(0.45)、岐阜県(0.43)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(3.7)、福岡県(2.7)、佐賀県(2.5)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて36都道府県から60例の報告があり、微減した。年齢別では、1歳以下が全体の77%を占めている。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山口県(1.78)、群馬県(1.10)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第13週)

2004年第13週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

インフルエンザ

2005年第13週の全国定点医療機関からの報告数は46,874、定点当たり報告数は9.99で、第9週のピーク以降は大幅な低下が続いている(図1)。定点当たり報告数が20.0を超えているのは沖縄県(33.9)、秋田県(25.3)、福井県(21.9)、青森県(20.2)の4県で、前週(20道県)より先減少した。

今シーズンのインフルエンザの大きな特徴としては、B型インフルエンザウイルスの分離報告数が半数以上(約60%)を占めており(IDWR 2005年第12号「病原体情報」参照)、特に1月以降は一貫してB型が流行の主流であったことが挙げられる(図2)。

さらに今シーズンの大きな特徴としては、定点当たり報告数が1.0を超えたのは2005年の第3週で、流行の立ち上がりが例年に比べて遅かったにもかかわらず、ピーク時における定点当たり報告数が50.0と、1997/98年および1994/95年シーズン以来の高いレベルを示したことが挙げられる(図1)。加えて、2005年第1~13週の定点からの累積報告数が1,412,036で、2000年以降の過去5年間と比較すると最多であり(図3)、2000年以降の現在のインフルエンザサーベイランスが開始されて以来、流行の規模そのものも最も大きかったと考えられる。また、1998/99年シーズンまでと1999/00年以降のシーズンとでは、定点医療機関がその数も含めて大幅に変更されているので一概に比較することは困難ではあるが、第1~13週の累積定点当たり報告数は1995年以降の11年間においても、2005年は最も多いものであった(図4)。

年齢階級別では5~9歳の報告が33%と最多であり、次いで4歳以下が26%で、0~15歳で全報告の約70%を占めていたが、これは今までと同様である。一方、若年者、高齢者を問わず殆どの年齢層で、2000年以降では最多の報告数を示したのに比べて、15~19歳の年齢層のみは2001年に次いで少ない報告数であったことも(図3)、今シーズンの特徴の一つと考えられる。

インフルエンザ脳症の発生報告については、2005年第13週までに全国の自治体から報告されたのは30例であった。これはシーズン当たりの発生数(脳炎・脳症は全数報告である)としてはかなり少ないと言える。しかしながら、今シーズンの流行の規模を考慮すると、実際には未報告のインフルエンザ脳症発症者が相当数存在している可能性は否定できない。インフルエンザ脳症が「急性脳炎」のカテゴリーに組み込まれたのは実質的に今シーズンからであるが、その報告の効率性については、次シーズンに向けてさらに検討していくべきであると思われる。

図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1994/95シーズン ~ 2005年第13週)

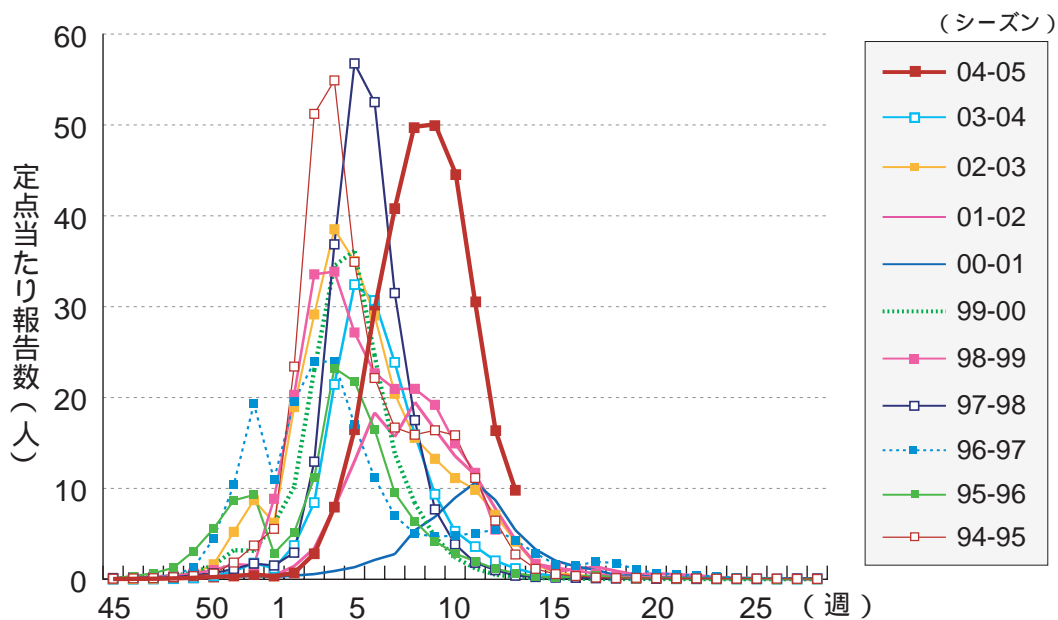


図2. インフルエンザウイルスの分離状況(2004/05シーズン、2005年第13週現在)

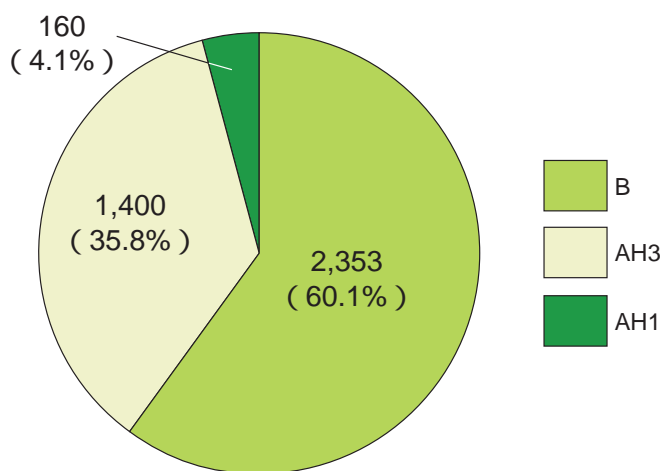


図3. 第1～13週におけるインフルエンザの年別・年齢群別累積報告数(2000～2005年)

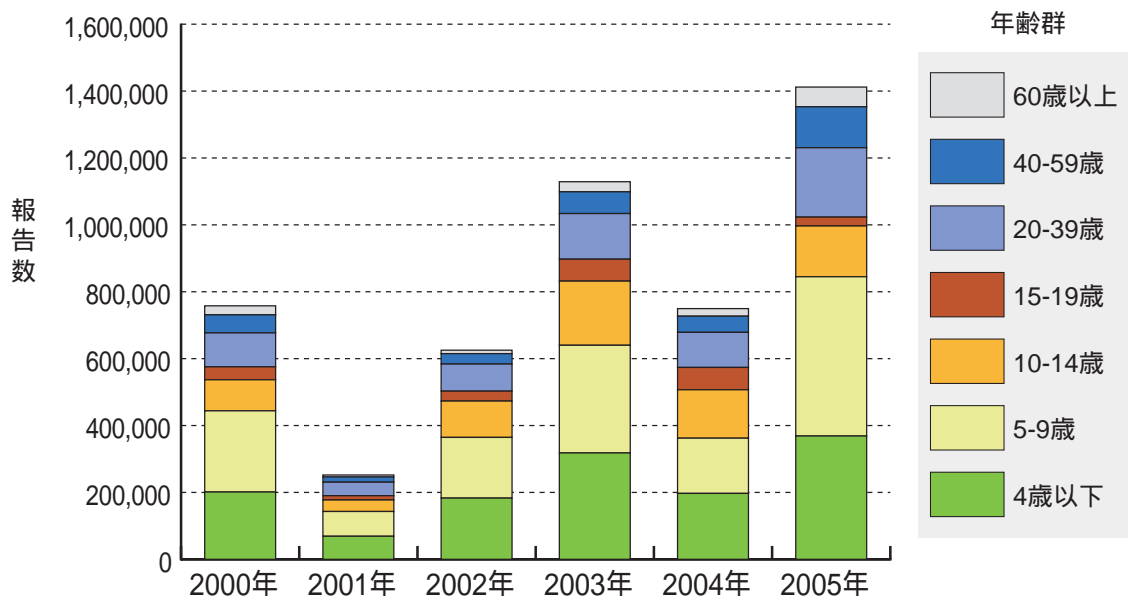
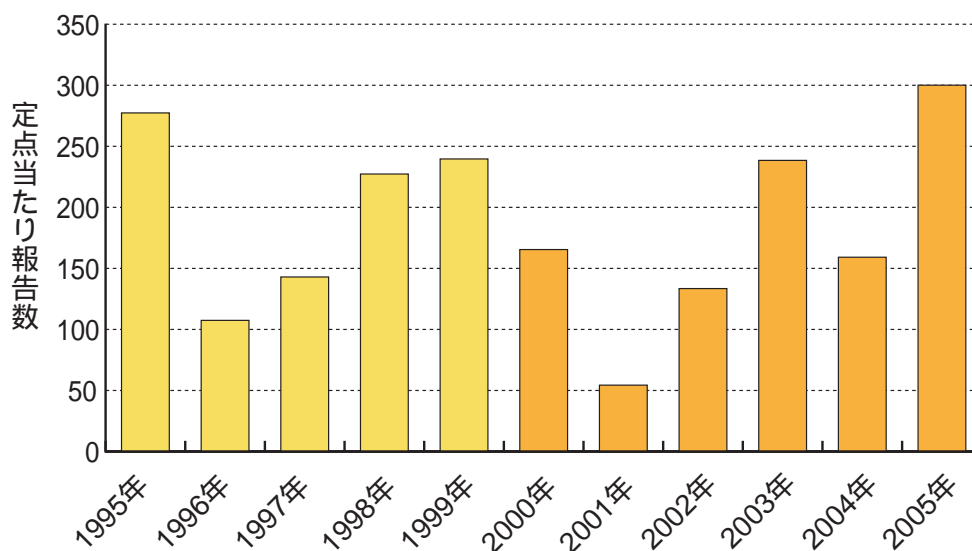


図4. 第1～13週におけるインフルエンザの年別累積定点当たり報告数(1995～2005年)



* 1999年第13週までのデータは、それまでの「感染症サーベイランス事業」に基づいて小児科定点医療機関からインフルエンザ様疾患として報告されたものによる。2000年以降は、感染症法に基づいて新たに設定されたインフルエンザ定点医療機関からの報告による。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

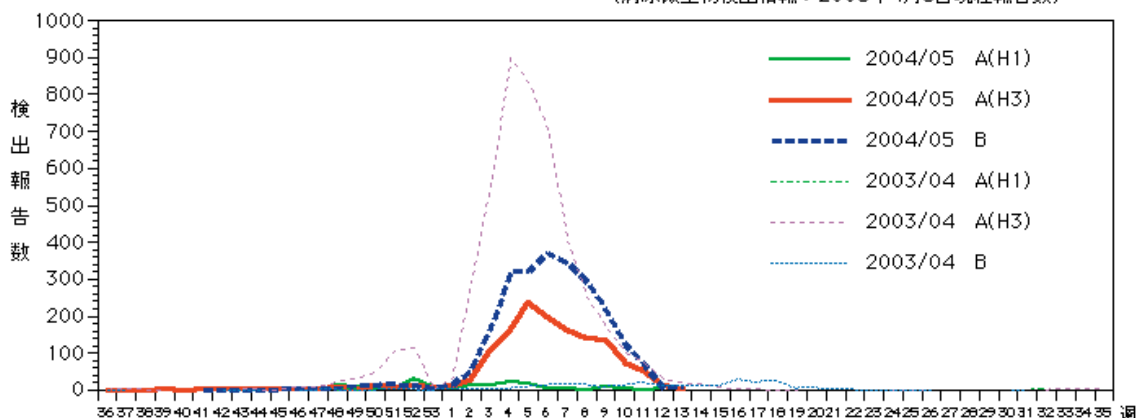
(2005年4月8日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

今シーズンは第2週以降B型、AH3型がともに増加したが、B型の方が大きく増加して主流となっている。B型は2,372件(うち19件はPCRのみによる検出)、AH3型1,413件(うち13件はPCRのみによる検出)、AH1型160件の分離・検出が報告されている。B型は43都道府県、AH3型は42都道府県、AH1型は16都道府県から報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年4月8日現在報告数)



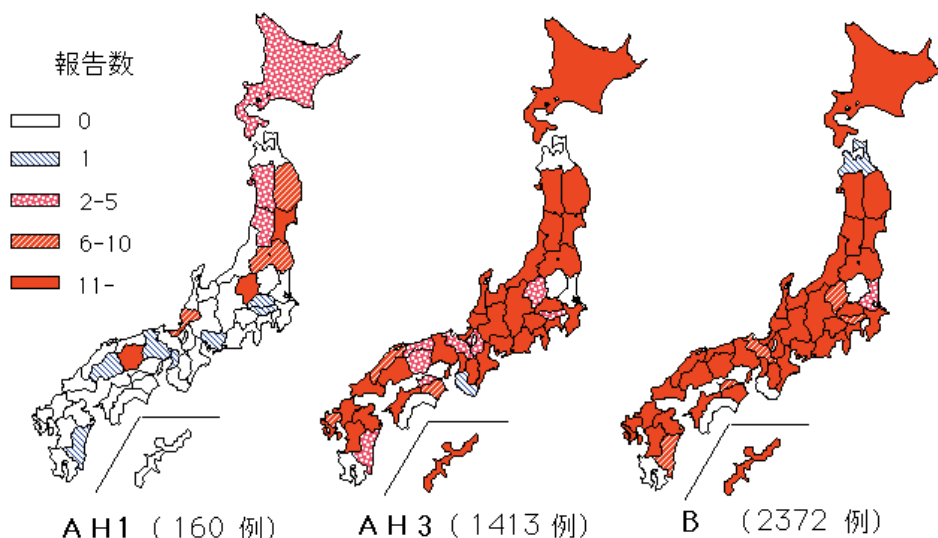
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年4月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。



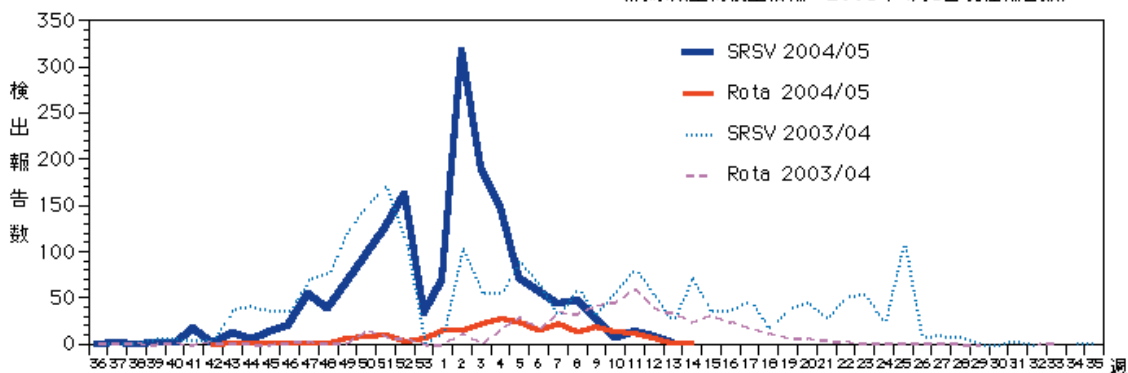
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはノロウイルスが1,582件、サポウイルスが53件、電顕による検出(SRSV)が8件報告されている。ノロウイルスの検出報告のうち、genogroup(G)IIが1,301件、GIIは115件、G不明が182件である。GIIは30都府県から、GIは21府県から報告されている。サポウイルスは13府県から報告されている。

ロタウイルスは、前シーズンに比べて早く第1週から増加し始め、これまでに255件の検出が報告されている。内訳はA群251、C群2、群不明2である。A群は27都府県から報告されている。C群は岡山県での検出である。

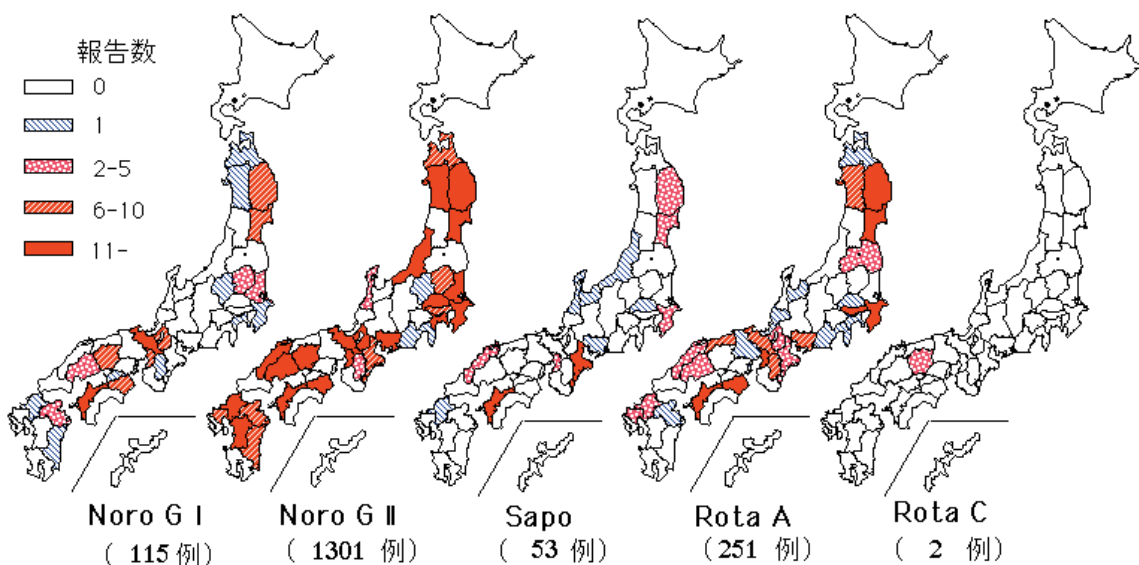
週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス)&ロタウイルス検出報告数の推移、2003/04, 2004/05シーズン
(病原微生物検出情報: 2005年4月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2004/05シーズン
(病原微生物検出情報: 2005年4月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。





レプトスピラ症(2003年11月5日～2005年4月7日現在)

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラによって起こる人獣共通の細菌(スピロヘータ)感染症である。病原性レプトスピラは保菌動物(ネズミ、イヌ、ウシ、ウマ、ブタなど)の腎臓に保菌されているが、尿中に排出され、この尿に汚染された下水や河川、泥などから経皮的に、ときには汚染された飲食物の摂取により経口的に感染する。5～14日の潜伏期の後、悪寒、発熱、頭痛、全身倦怠感、眼球結膜充血、筋肉痛などの症状が出現する。臨床経過は、一過性の発熱と感冒様症状で経過する軽症型から、黄疸、出血、腎障害などが出現する重症型まで多彩である。「秋季レプトスピラ症(秋やみ)」、「イヌ型レプトスピラ症」は通常軽症のことが多く、「黄疸出血性レプトスピラ症(ワイル病)」は重症型の代表である。これらの異なる病型は、230以上知られている血清型の異なる病原レプトスピラによって起こる。

わが国では従来、本疾患は届出の対象でなかったため、発生状況は正確には把握されていなかった。しかし、2003年11月5日施行の感染症法改正によって、新たに感染症法上の四類感染症に規定され、現在では診断したすべての医師に届け出が義務づけられている。

2003年11月5日から2005年4月7日までに報告されたレプトスピラ症は、20例(2003年1例、2004年18例、2005年1例)であった。性別では男性16例、女性4例で男性に多く、年齢は20～80歳(中央値47歳)で、年齢群別(10歳毎)では20代2例、30代4例、40代6例、50代2例、60代3例、70代2例、80代1例であった(表)。推定感染地域は、3例(インドネシア、タイ、マレーシア)を除く17例が国内であり、その内訳は、沖縄県7例、千葉県2例、長崎県2例で、東京都、神奈川県、徳島県、愛媛県、鹿児島県、九州地方が各1例であった。また、20例の推定感染機会としては、河川に関連したものが5例、農作業が5例、貯水池でのヘドロ除去作業が4例、下水道作業が1例、ビルの清掃作業が1例、イヌとの接触が1例、イヌ・ヤギとの接触が1例、不明が2例であり、ヘドロ除去作業の4例(沖縄県)以外は散発例であった。

レプトスピラ症は、特に発熱・感冒様症状が主症状である軽症型では、見逃されていることも多いと考えられる。診断のためには症状、所見に加え、病原体との接触機会(職業、行動など)や渡航歴などの疫学情報を十分問診することが重要である。また本症を疑う場合には、病原体検査または血清抗体検査が必要である。病原体検査にはコルトフ培地やEMJH培地などの特殊な培地による分離培養と、PCR法による病原体遺伝子の検出がある。血清抗体検査は、ペア血清を用いて顕微鏡下凝集試験法(MAT法)により、血清型(血清群)特異的抗体を検出する。血清抗体検査は感染の確認になるが、さらに原因菌の血清型を把握することは、わが国におけるレプトスピラ症の疫学情報として重要である。なお、血清抗体検査としてラテックス凝集試験が行われることがあるが、現状のキットは偽陽性の多いことが指摘されており、少なくとも単一血清のみでの診断は行わないよう、注意が必要である。MAT法による検査は、国立感染症研究所細菌第一部に検査依頼が可能である。

表. レプトスピラ症の報告状況(2003年11月5日～2005年4月7日)

性	年齢	発症年・月	報告都道府県	推定感染地	推定感染機会など	血清抗体検査		病原体検査	
						血清型	方法		
2003年									
1	女	70代	2003.1	徳島県	徳島県	水田での農作業	Hebdomadis	MAT法	-
2004年									
2	男	30代	2004.2	東京都	東京都	下水道作業	Icterohaemorrhagiae/ Copenhageni *	MAT法	-
3	男	30代	2004.7	東京都	インドネシア (バリ島)	不明(遊泳歴なし)	Sejroe	MAT法	鏡検
4	男	20代	2004.8	沖縄県	沖縄県	川での活動	Hebdomadis	MAT法	菌分離
5	男	40代	2004.8	沖縄県	沖縄県	水源地へドロ 除去作業**	Hebdomadis	MAT法	菌分離
6	男	40代	2004.8	沖縄県	沖縄県	川での活動	Hebdomadis	MAT法	菌分離
7	男	30代	2004.8	沖縄県	沖縄県	水源地へドロ 除去作業**	Hebdomadis	MAT法	-
8	男	40代	2004.8	沖縄県	沖縄県	水源地へドロ 除去作業**	Hebdomadis	MAT法	-
9	男	40代	2004.8	沖縄県	沖縄県	水源地へドロ 除去作業**	Autumnalis/ Rachmati *	MAT法	-
10	男	50代	2004.9	東京都	九州地方	山や川での活動	Hebdomadis	MAT法	-
11	女	80代	2004.9	千葉県	千葉県	水田での農作業 (ネズミ)	Icterohaemorrhagiae/ Copenhageni *	MAT法	-
12	男	60代	2004.9	愛媛県	愛媛県	台風で氾濫した 河川での水中作業	Australis	MAT法	-
13	男	60代	2004.9	神奈川県	神奈川県	清掃作業(ネズミ)	Canicola	MAT法	-
14	男	40代	2004.9	長崎県	長崎県	水田での農作業	Autumnalis	MAT法	-
15	男	60代	2004.9	長崎県	長崎県	農作業	Hebdomadis	MAT法	-
16	男	70代	2004.9	鹿児島県	鹿児島県	農作業	Canicola	MAT法	-
17	男	50代	2004.9	沖縄県	沖縄県	イヌ、ヤギとの 接触歴あり	Javanica	MAT法	-
18	男	20代	2004.9	茨城県	タイ	不明	Australis	ラテックス 凝集試験	-
19	女	30代	2004.11	千葉県	千葉県	イヌとの接触歴 あり	不明	未実施	PCR法
2005年									
20	女	40代	2005.1	東京都	マレーシア (ボルネオ島)	ラフティング (ボートで川下り)	Hebdomadis/Poi/ Pyrogenes *	MAT法	菌分離

* 複数の血清型につき、ペア血清で4倍以上の抗体価上昇

** 同一集団

同一検体から複数のウイルスが検出された感染性胃腸炎の 散発事例 - 千葉市

2004年11月~2005年1月の3カ月間に、定点および協力医療機関から感染性胃腸炎と診断された便72検体、直腸ぬぐい液7検体、腸内容物8検体、吐物3検体の検査依頼があり、検査を行ったところ、計90検体中62検体(69%)から下痢症ウイルスが検出された。そのうち、同一検体から複数のウイルスが検出されたものが数例みられたので報告する。

便、腸内容物、吐物はイーグルMEMを用いて3%乳剤を作製し、凍結融解後、3,000rpmで15分間遠心を行い、上清を回収したものを検査材料とした。検査は、ノロウイルスについてはCOG1F/G1-SKRおよびCOG2F/G2-SKRを用いてRT-PCRを行い、目的とする大きさの増幅産物が認められたものについて、ダイレクトシーケンスを実施した。A群ロタウイルスについてはロタクロン(TFB製)を用いた。アストロウイルスについては、Amplified IDEIA Astrovirus(Dako Cytomation製)を用いた。また、HeLaおよびCaCo-2細胞に接種を行い、その他のウイルスの分離を試みた。

その結果、ノロウイルスgenogroup(G)IIが50検体、ノロウイルスGIが1検体、A群ロタウイルスが16検体、アストロウイルスが3検体、アデノウイルス40/41型が1検体、エコーウイルス25型が1検体(重複を含む)から検出された。このうち10検体からは、2種類のウイルスが検出された。これらの10例中、ノロウイルスGIIとA群ロタウイルスが検出された例が5例と最も多かったが、発生状況が家族内発生あるいは散発であり、また、患者住所地にも偏りが無いことから、両ウイルスが混在した同一汚染源に由来するものでなく、この時期にそれぞれのウイルスが市内で流行していたものと考えられた。

検出されたウイルスの中で最も多かったのがノロウイルスGIIであったが、片山らの分類(IDWR 2004年第11週号「感染症の話」)によるgenotype別ではGII/4型が37検体と、検出された全ノロウイルスGIIの74%を占めた。また、同時期(2005年1月6~12日)に市内3カ所の老人ホームでノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がみられたが、これらのgenotypeもすべてGII/4型であった。

以上のことから、2004年11月~2005年1月の3カ月間に、千葉市内でノロウイルスGIIおよびA群ロタウイルスなどの流行があり、それらのウイルスの単独または複合感染による胃腸炎が散発したことが示唆された。

千葉市環境保健研究所

田中俊光 横井 一 都竹眞実 秋元 徹 三井良雄 小笠原義博 池上 宏

(IASR 2005年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新

WHO/CSR 2005年4月6日

4月5日現在、アンゴラ保健省は181名の患者発生を報告した。このうち156名が死亡している。患者は5カ所の州から報告されている。Uige州が依然として流行の中心である。当初、5歳以下の小児が患者の75%を占めたが、最近の患者では成人の比率が増えている。

コンゴ民主共和国で1名の患者が現在、マールブルグ病の検査中である。

WHOと同国政府は、マールブルグ病の流行拡大を憂慮している。3月21日にマールブルグウイルスが確認された後、WHOは状況評価と初期危機対策の構築のため、Uigeに上級疫学者を派遣した。物的および人的な支援が集まっている。

ほぼ30年にわたる内戦により、アンゴラでは医療資源がほとんど機能しておらず、病院では基本的な器具や消耗品が極度に不足しており、また、通信機器や搬送システムが不備である。さらに、住民は経済危機により弱体化している。これらの弱体化は患者のアクティブサーベイランス、患者を早期発見して設備の整った施設への隔離、迅速な接触者追跡調査による流行制圧対策などの妨げになっている。

過去数日間にUigeで行われた集中的サーベイランスの結果、一部の患者が病院に収容されずにコミュニティで危篤状態であることが判明し、緊急に死亡者の安全な収容と埋葬システムを組織することが必要となってきた。

マールブルグ病の潜伏期間はわずか3日のこともある。迅速かつ適切に接触者調査を行う必要があり、優先事項である。

WHO/CSR 2005年4月7日

4月6日現在、アンゴラで200名のマールブルグ病患者が報告された。このうち173名が死亡している。Kuanza Sul州から患者が初めて報告され、汚染地域は6州に増加した。6州とも同国北西部に位置する。

WHOの検査における国際協力ネットワークにより、カナダ、ドイツ、南アフリカ、米国が診断支援を行っている。

アンゴラでは、Uigeでフィールド用ポータブル検査室が運用を始めており、また、Luandaでもまもなく運用を開始する。フィールド用検査室では、流行時に迅速で充分信頼できる検査結果を得ることができる。流行対策のために検査結果が非常に重要な場合には、検査ネットワークが検査のバックアップを行う。このような状況は、患者が国外へ移動した可能性がある場合などである。

より長期的な目標としては、マールブルグウイルスが非流行時に自然界のどこに隠れているかを明らかにすることになる。アンゴラで得られたウイルスの研究により、解明の手がかりが得られる可能性もある。今回の流行以前には、アンゴラは地理的に「ホットゾーン」とは考えられてなく、ホットゾーンは中央アフリカと東アフリカと考えられていた。

WHO/CSR 2005年4月8日

2005年4月7日時点で、アンゴラから205名のマールブルグ病患者が報告されている。うち180名が死亡している。Zaire州で初の患者6名が報告され、感染が発生した州の総数は7州となったが、全てがアンゴラ北西部に集中している。

昨日、地域住民により車両が襲撃破壊されたために、Uige州の移動監視チームは作戦延期を余儀なくされた。状況が改善しないために監視チームは、いまだに流行の中心であるUige州で現在作戦活動を実施していない。Uige州のWHOスタッフは本日、数名の死亡者報告を受けたが、監視チームは死亡原因を調査したり、安全に埋葬された遺体から検査検体を採取したりすることができなくなっている。緊急に解決策を話し合うための地方当局との会議が開催された。(以下のWHOコメントは、マールブルグ病の劇的な症状や致死率の高さから恐怖をもたれ、なおかつ、入院しても転帰にあまり変わりがないことから、地域住民の理解や協力が得られなくなっている危機的事態と、ウイルス性疾患感染制御のために、地域住民の理解と協力を得ることが必須であることについてのものである)

WHO/CSR 2005年4月11日

2005年4月9日時点で、アンゴラではマールブルグ病患者214名が報告されている。そのうち、194名が死亡している。Uige州は現在も流行の中心地であり、患者および死亡者の約90%が発生している。

Uige州では、住民のマールブルグ病理解促進のための強化キャンペーンに続いて、4月10日に移動サーベイランスチームが活動を再開した。キャンペーンは州知事や、患者の発生した共同体を個人的に訪問した保健局当局者からの支援を受けている。宗教リーダーも市民の啓発活動を支援している。

スーダンでの髄膜炎疾患 - 更新

WHO/CSR 2005年4月6日

2005年3月25日現在、北Darfur州のSarf Omraで、5名の死亡者を含む71名の疑い患者(致死率7.04%)が報告された。ラテックス法または培養法により、採取された20検体中11検体から髄膜炎菌W135群が確認された。

Sarf Omra行政区とその周辺の村で4月2日に、髄膜炎菌3価ワクチンを用いた45,000人に対する集団予防接種キャンペーンが開始された。

スーダンとチャドでの髄膜炎疾患

CDC/Outbreak Notice

WHOによると、南西チャドとスーダンの北Darfur州で髄膜炎菌流行が報告された。また、チャドでは検査により、同国に常在する髄膜炎菌A群が検出された。両国ともに髄膜炎が頻繁に報告される国である(髄膜炎ベルト)。血清型A群髄膜炎菌は、例年この地域では乾季(12月~1月)に発生し、大規模な流行は8~12年ごとに発生している。2002年にはブルキナファソで、血清型W-135群髄膜炎菌による大規模な流行が発生した。流行に対してWHO、他の国際機関、保健省は、両国で大規模集団接種キャンペーンを行っている。

CDCは、流行地に渡航する旅行者、特に現地の人々と長期間の接触が予想される場合には、髄膜炎菌4価ワクチン(A, C, Y, W-135)の接種を推奨している。

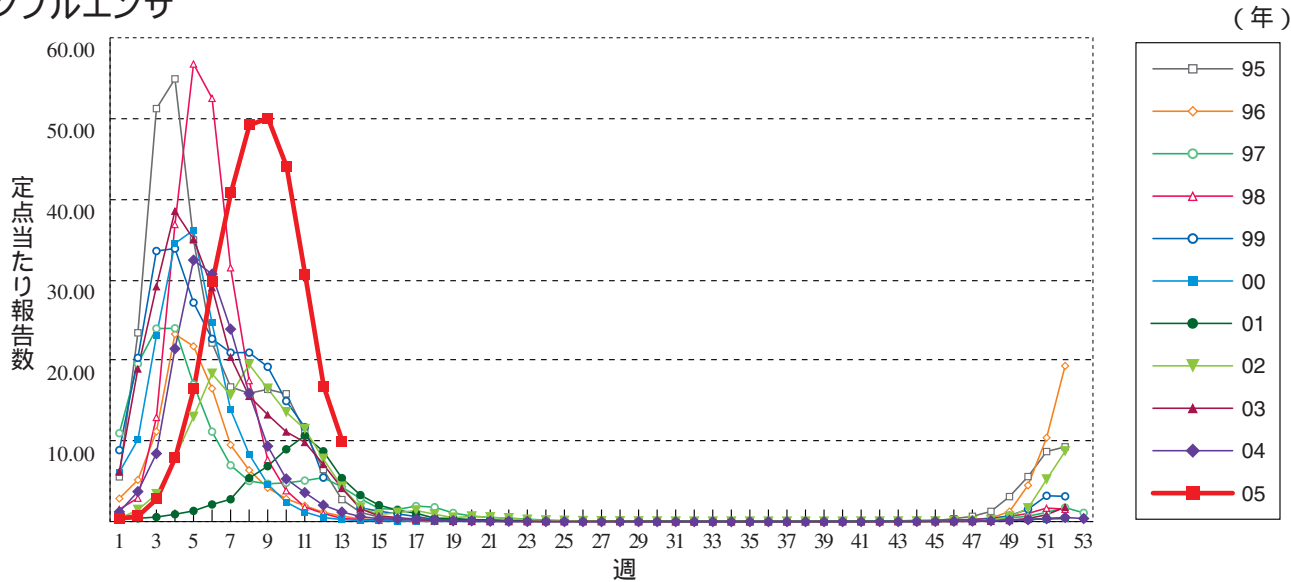


感染症の話

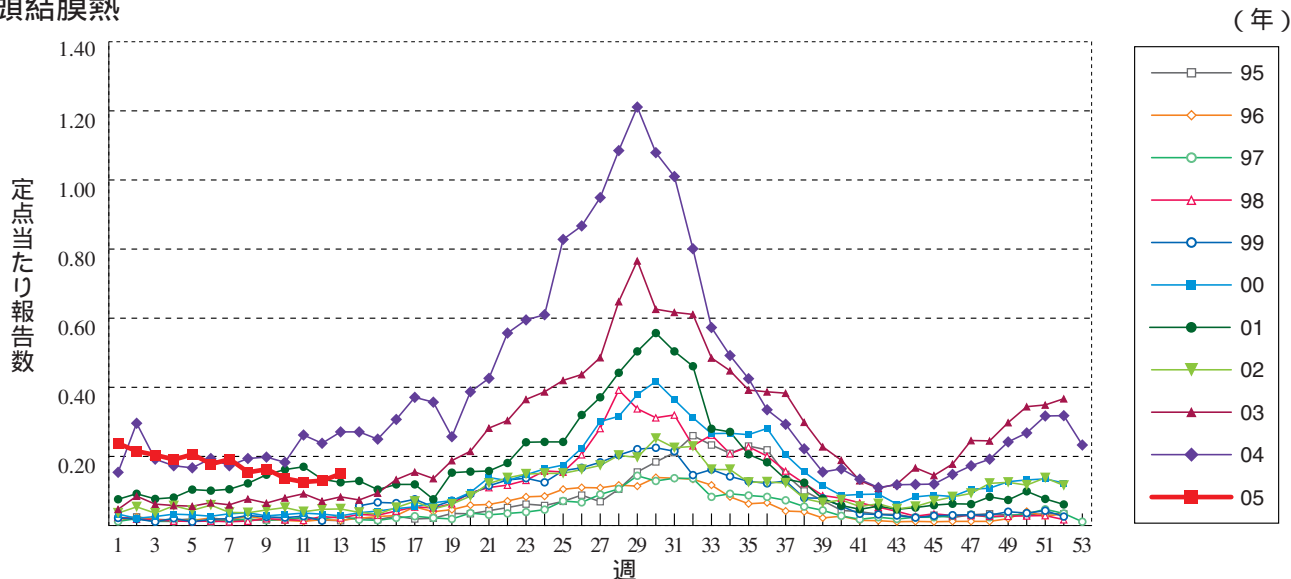
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(13週)

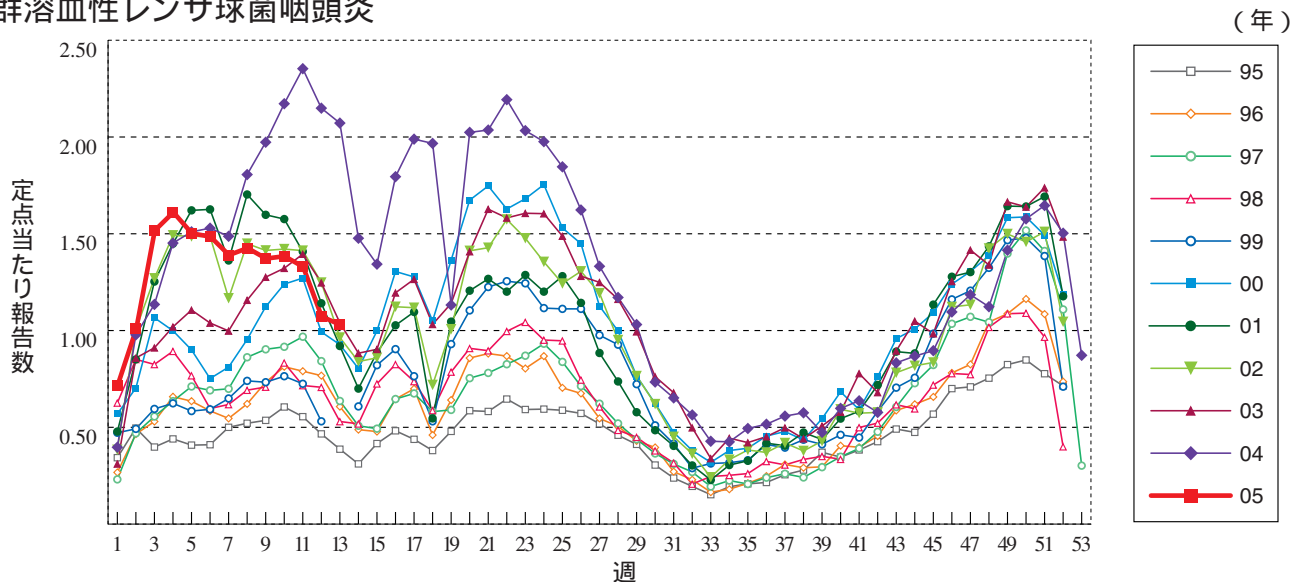
インフルエンザ



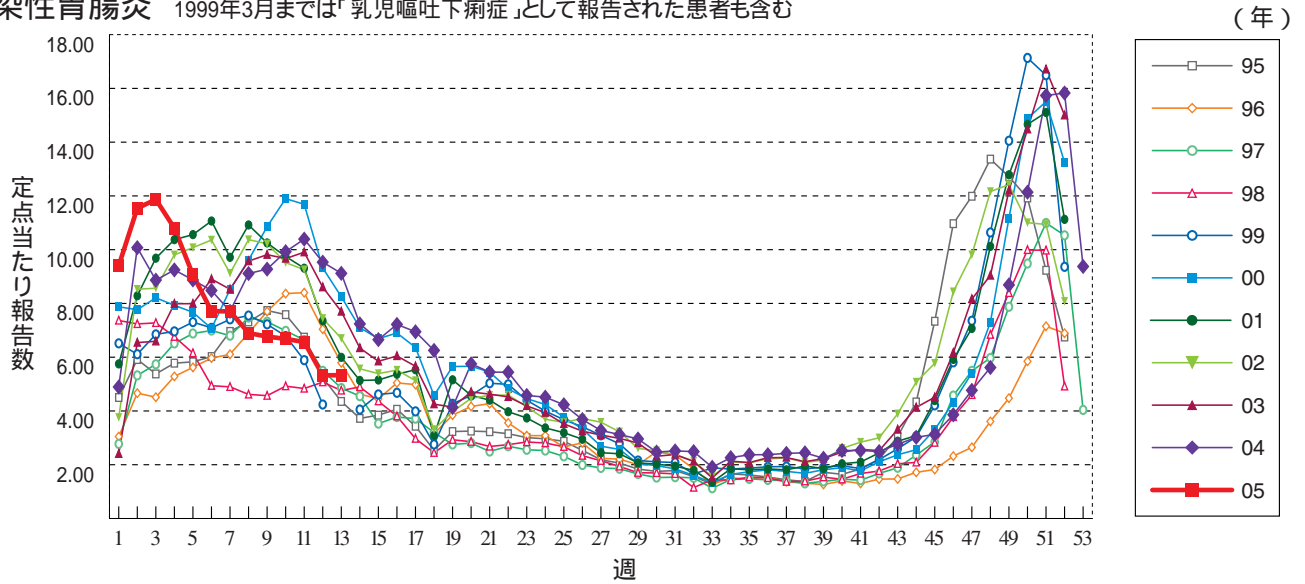
咽頭結膜熱



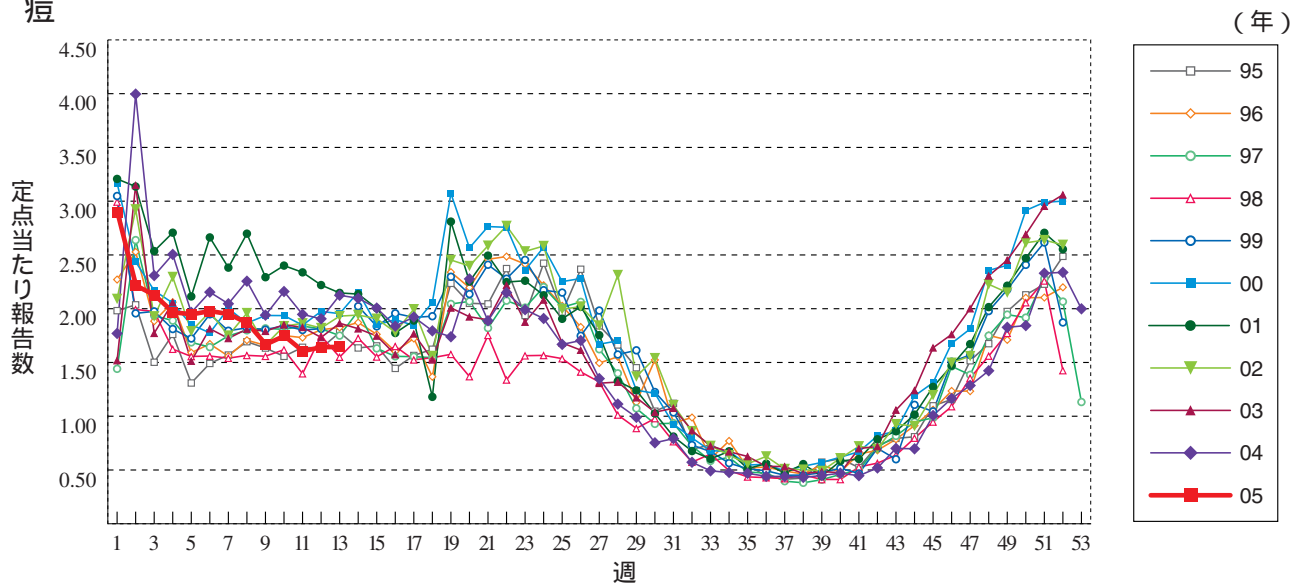
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



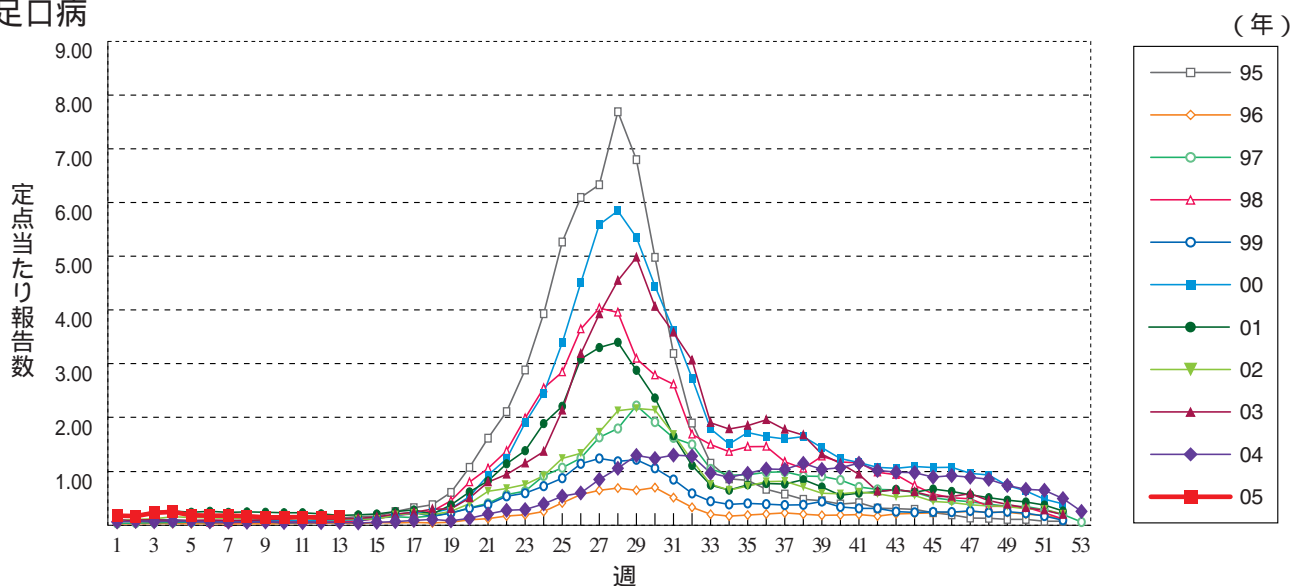
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



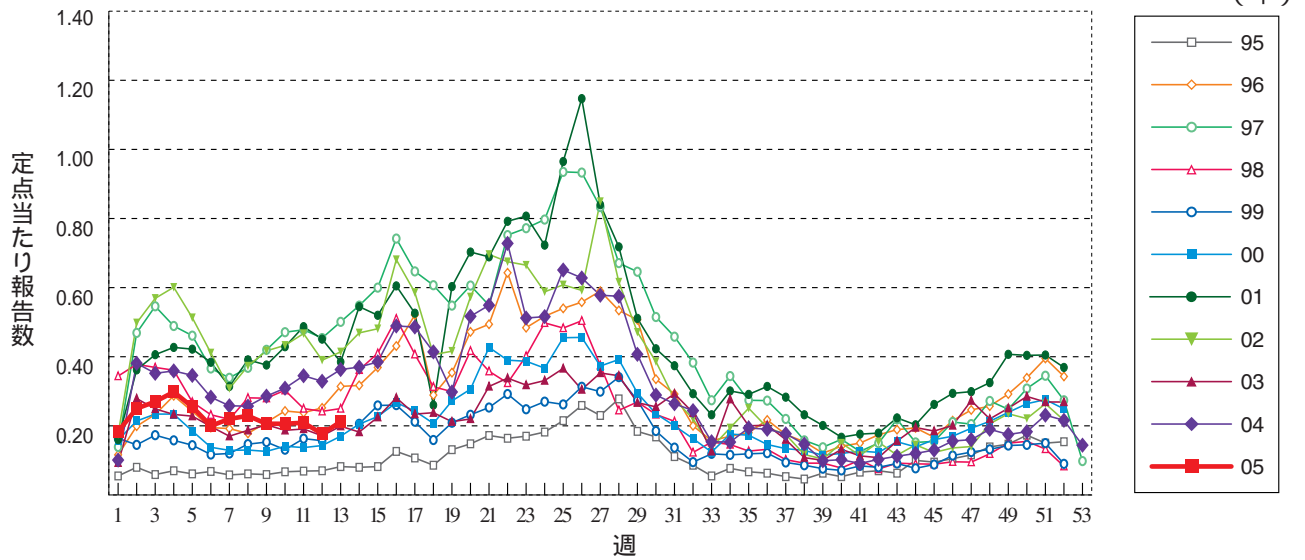
水痘



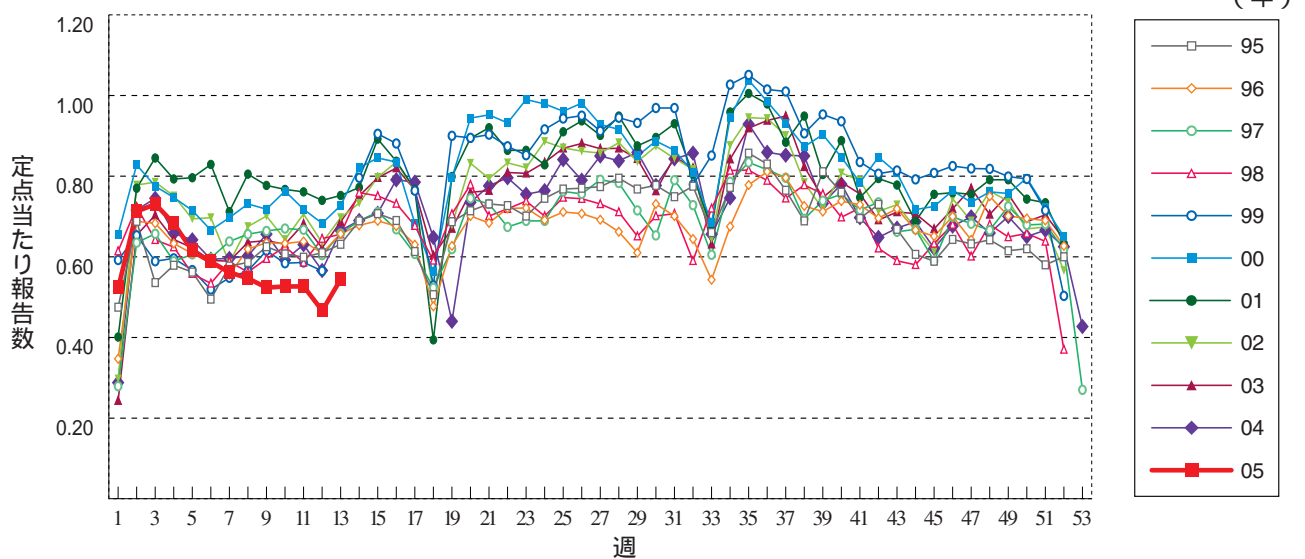
手足口病



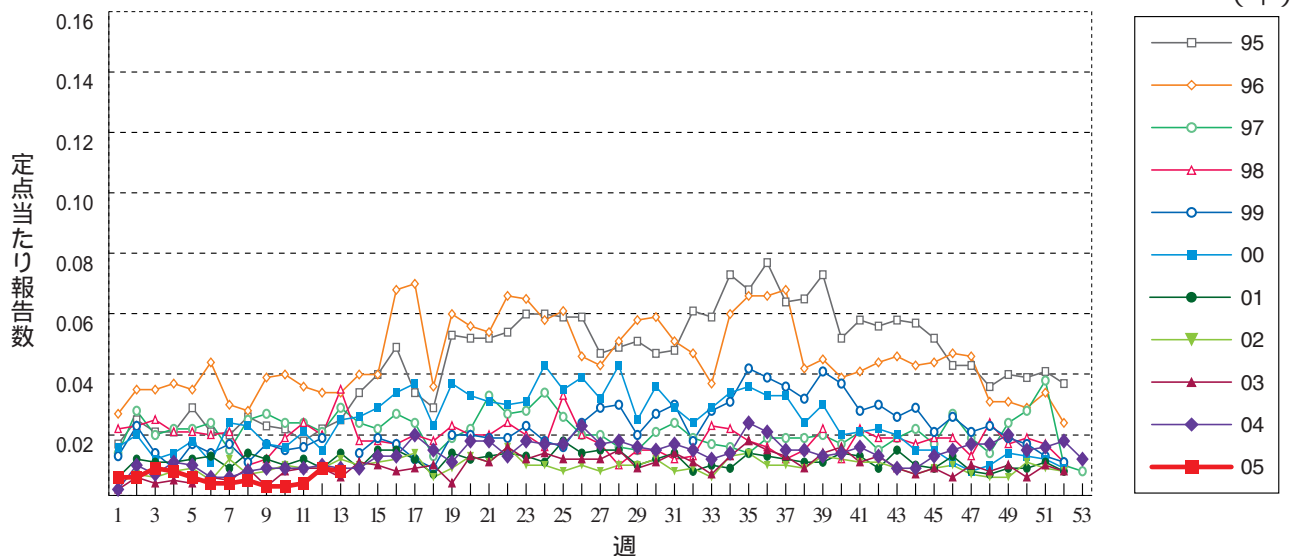
伝染性紅斑



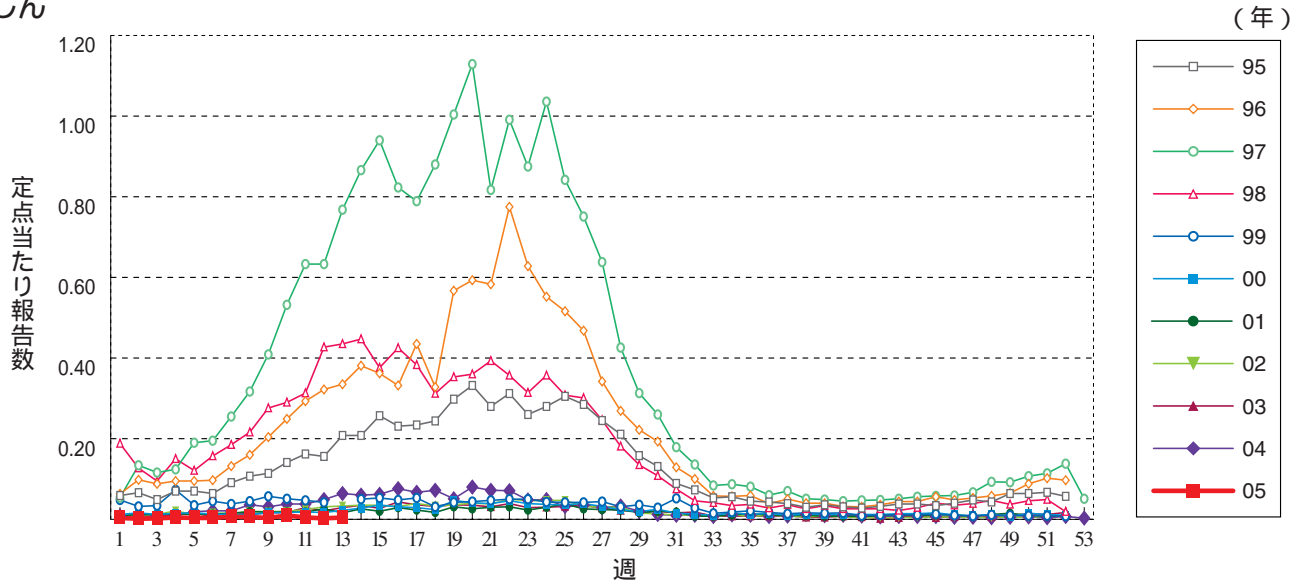
突発性発しん



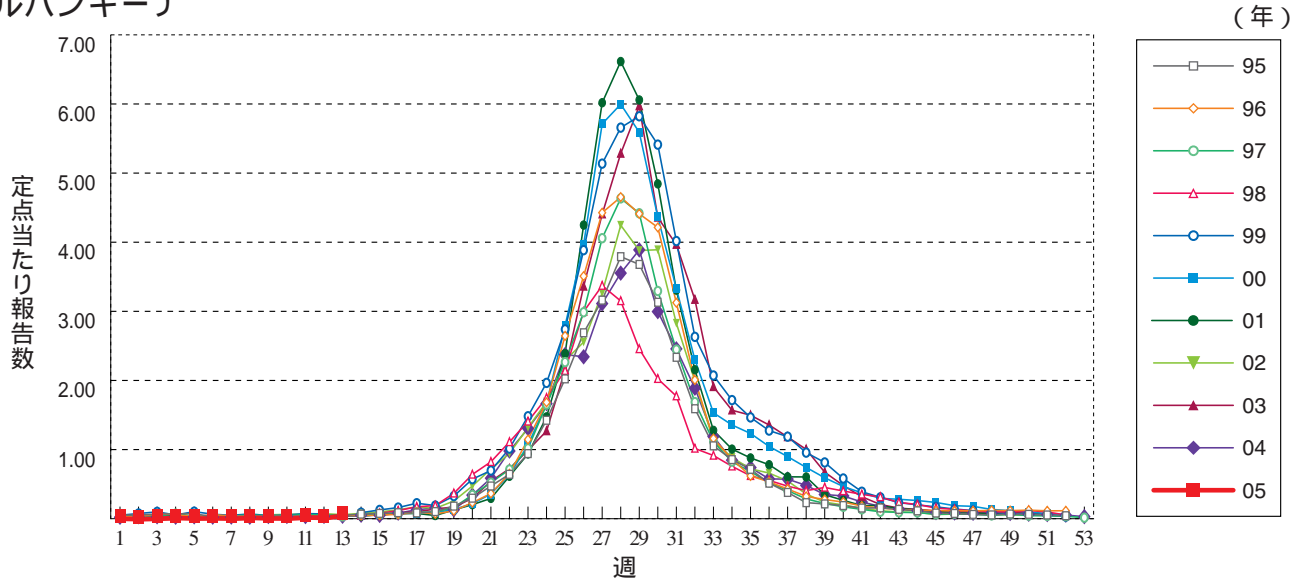
百日咳



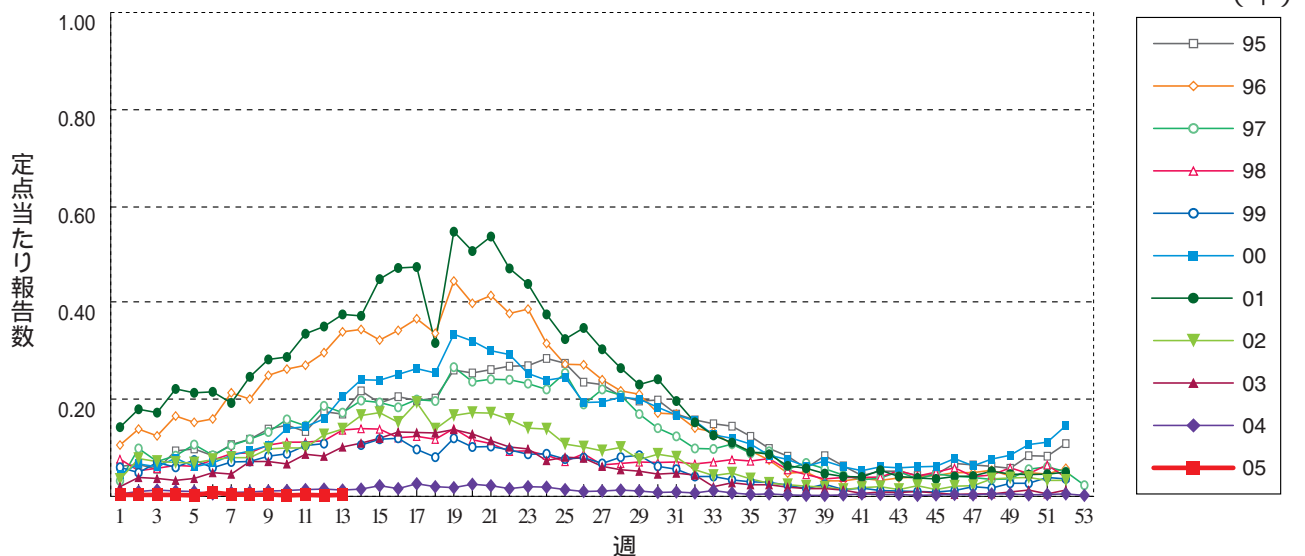
風しん



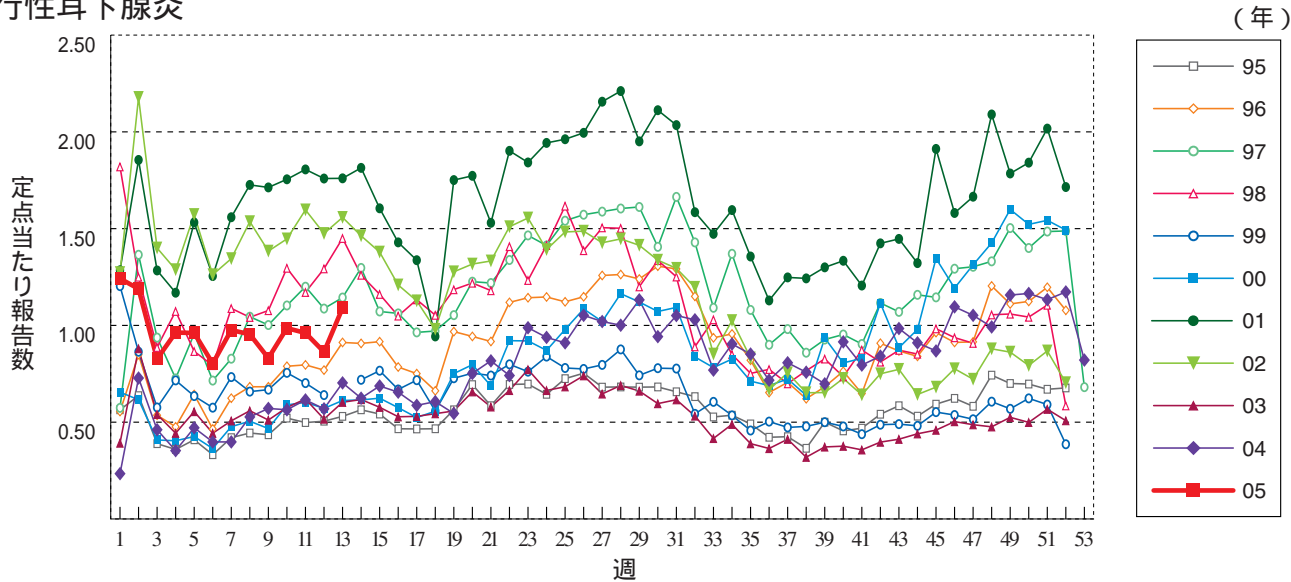
ヘルパンギーナ



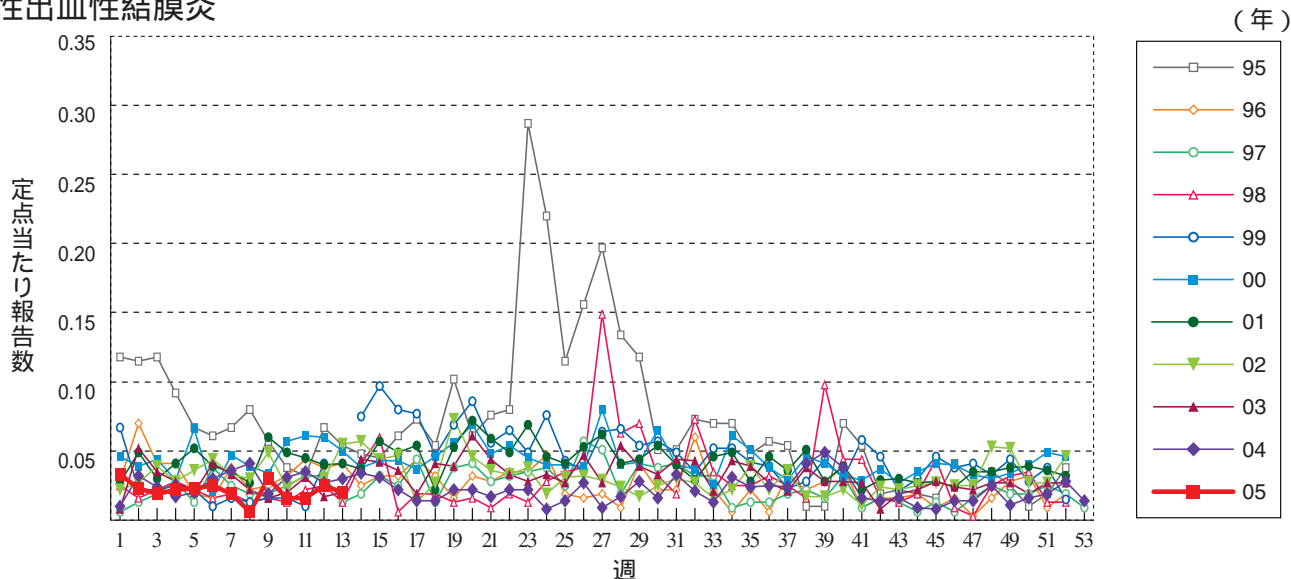
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



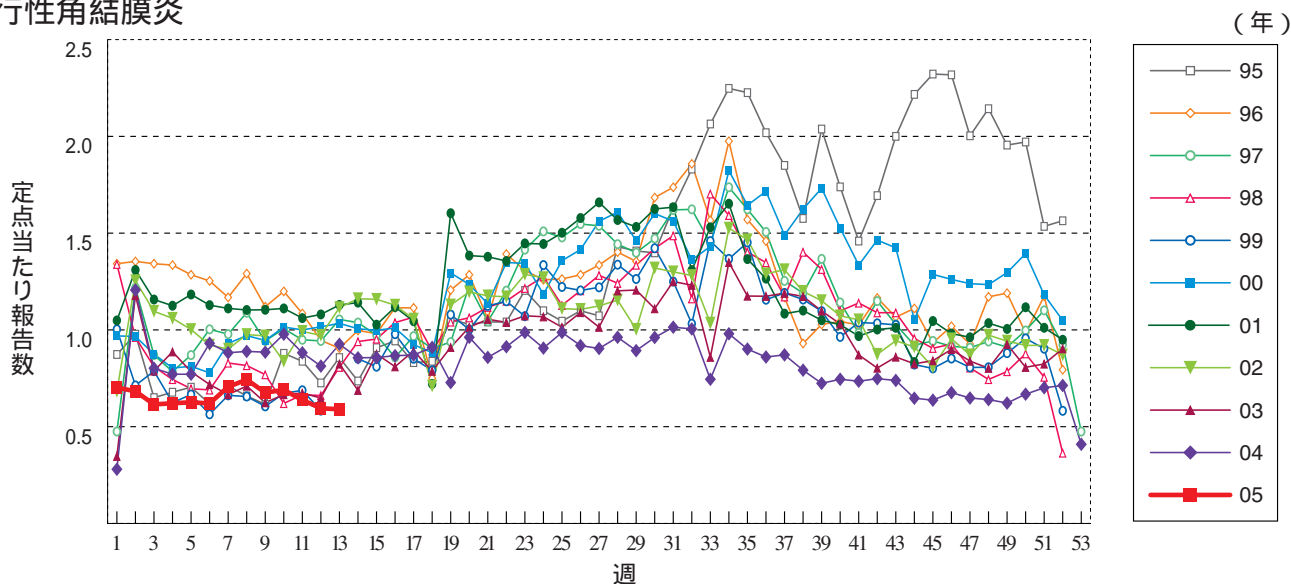
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

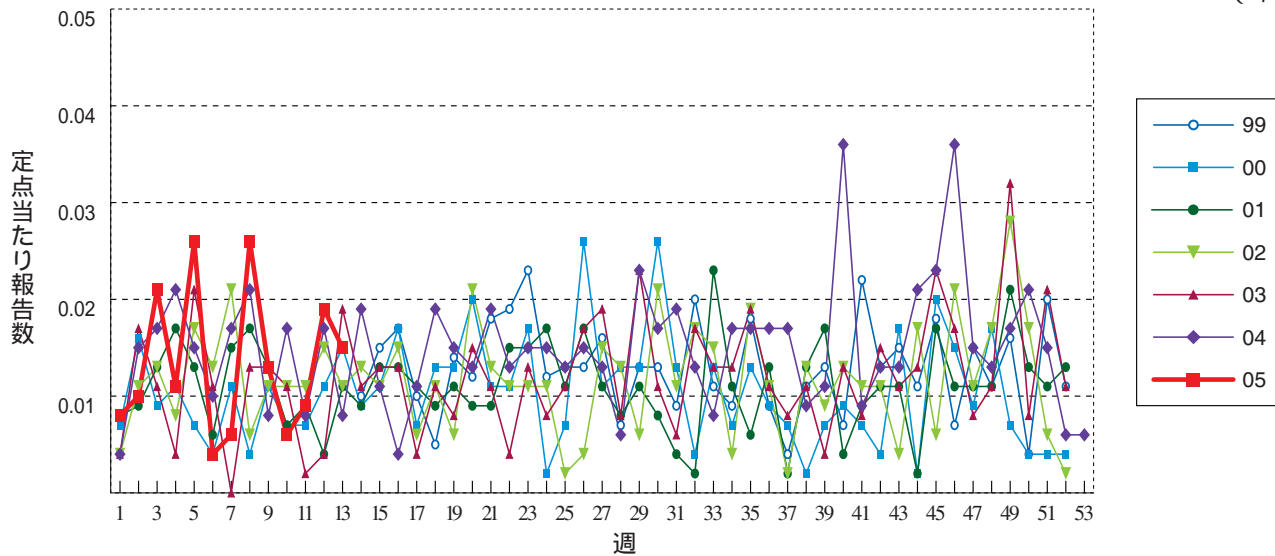


流行性角結膜炎



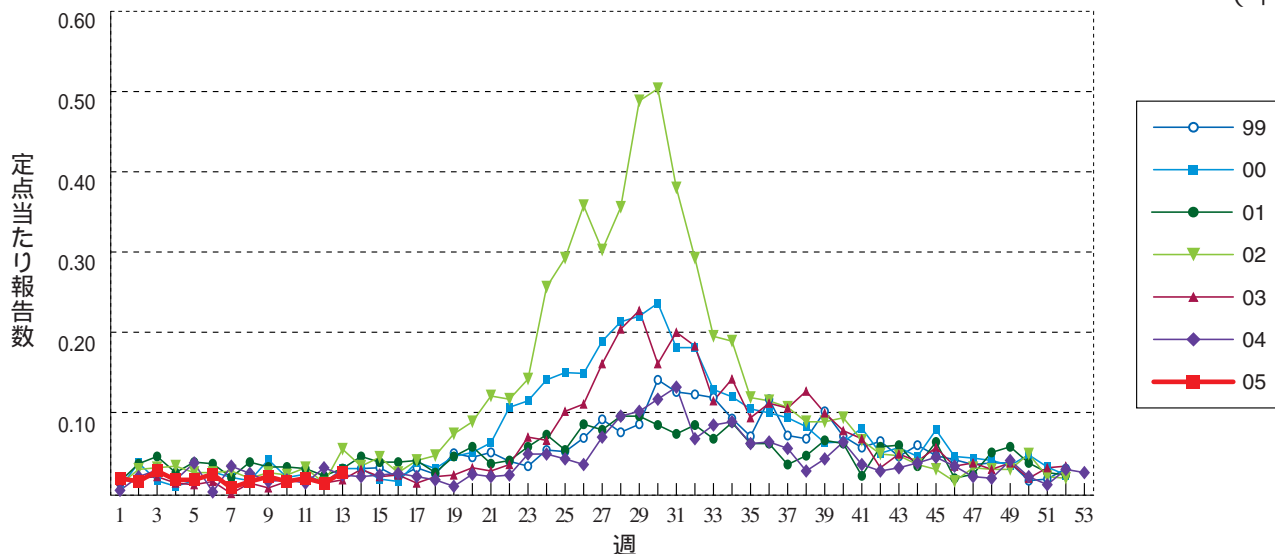
細菌性髄膜炎

(年)



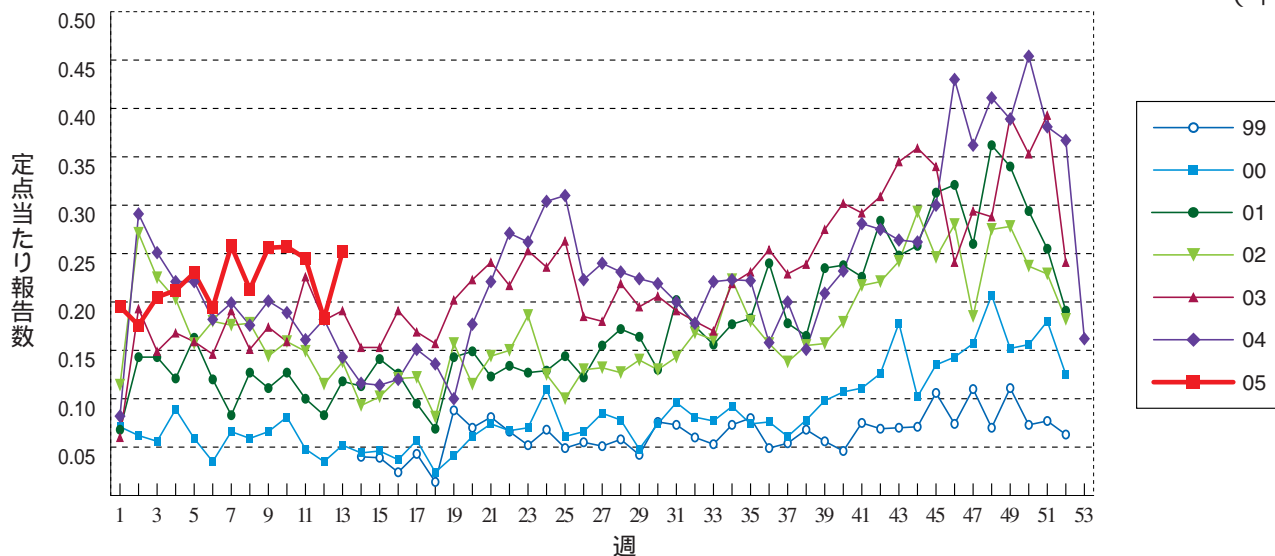
無菌性髄膜炎

(年)

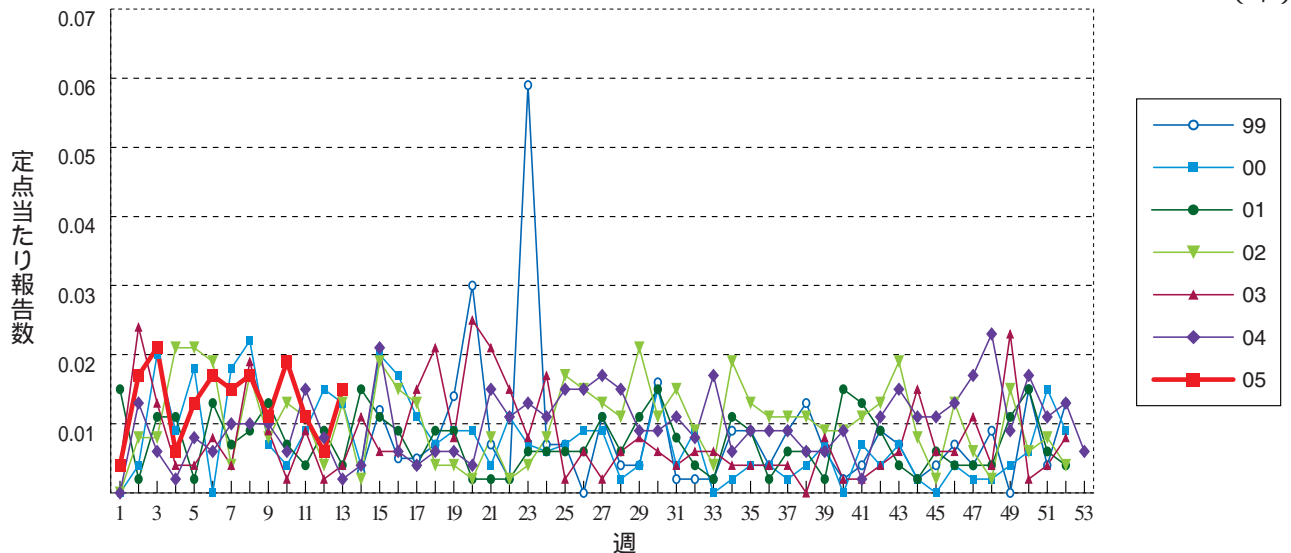


マイコプラズマ肺炎

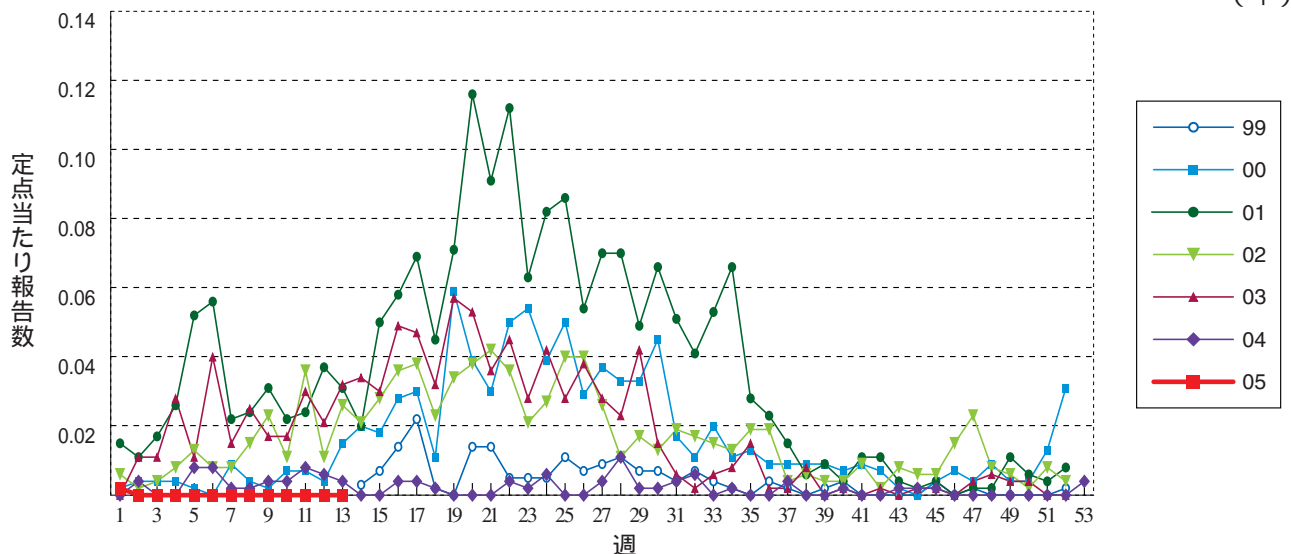
(年)



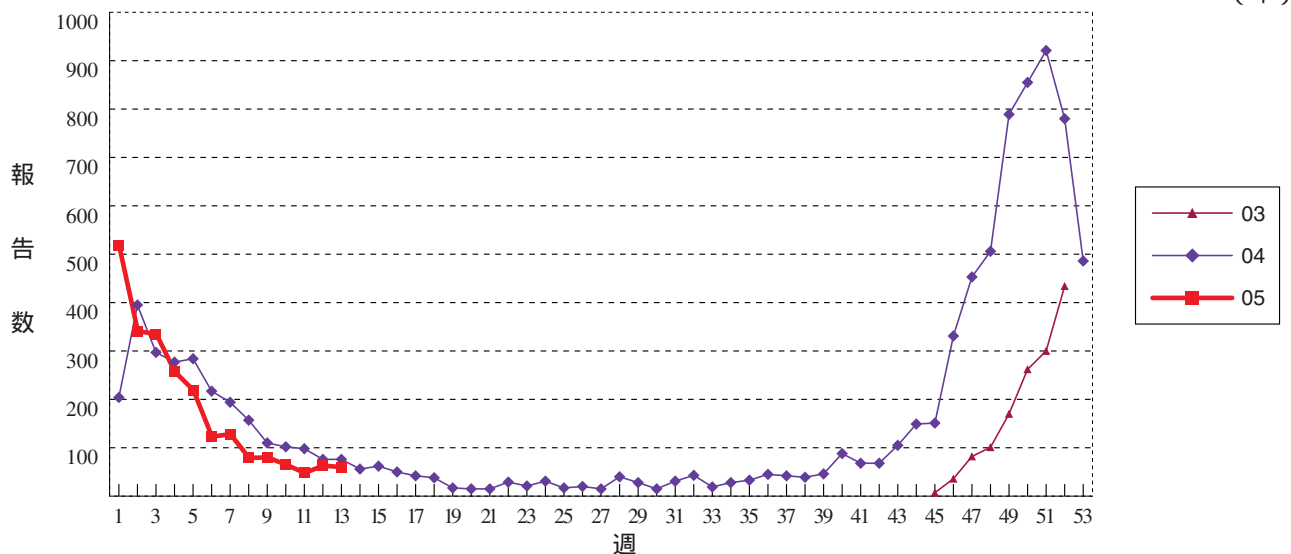
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





13週のデータ

注)表中の報告数は4月7日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	20	164	2	15	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	26	1	3	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	1	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	18	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	34	174	7	160	-	6	-	-	1	15	-	-	3	81
北海道	-	-	-	-	1	1	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	37	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	1	1	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	7	1	39	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	3	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛知県	-	-	-	-	3	9	-	13	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	3	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	2	11	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
兵庫県	-	-	-	-	2	6	1	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	3	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	1	4	1	36	-	21	14	265	-	-	-	13	-	-
北海道	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	13	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	1	7	-	3	4	83	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	10	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	14	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	19	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	39	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	23	-	7	-	1	-	-	4	119	-	16
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	22	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	16	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	1	27
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
東京都	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	14	-	-	3	55	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	-	64	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年13週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	46874	9.99	456	0.15	3135	1.03	16226	5.33	5005	1.64	473	0.16	645	0.21	1662	0.55	24	0.01
北海道	3309	14.45	27	0.19	260	1.79	320	2.21	221	1.52	5	0.03	19	0.13	57	0.39	-	-
青森県	1310	20.15	4	0.10	93	2.21	195	4.64	57	1.36	11	0.26	7	0.17	13	0.31	-	-
岩手県	975	15.73	1	0.03	11	0.29	99	2.61	38	1.00	6	0.16	10	0.26	19	0.50	-	-
宮城県	1188	12.00	3	0.05	65	1.07	243	3.98	99	1.62	13	0.21	15	0.25	39	0.64	-	-
秋田県	1390	25.27	4	0.11	26	0.74	158	4.51	32	0.91	1	0.03	3	0.09	16	0.46	-	-
山形県	760	15.83	6	0.20	69	2.30	158	5.27	46	1.53	5	0.17	8	0.27	13	0.43	-	-
福島県	849	10.61	7	0.15	33	0.69	304	6.33	77	1.60	7	0.15	25	0.52	33	0.69	-	-
茨城県	684	5.80	6	0.08	53	0.72	273	3.69	71	0.96	3	0.04	4	0.05	21	0.28	-	-
栃木県	544	7.77	2	0.04	44	0.96	148	3.22	41	0.89	4	0.09	6	0.13	19	0.41	2	0.04
群馬県	734	7.34	16	0.26	60	0.97	293	4.73	77	1.24	22	0.35	11	0.18	25	0.40	1	0.02
埼玉県	1159	4.51	19	0.12	177	1.10	926	5.75	309	1.92	20	0.12	19	0.12	88	0.55	1	0.01
千葉県	1027	4.87	19	0.14	177	1.34	688	5.21	203	1.54	13	0.10	17	0.13	81	0.61	8	0.06
東京都	588	3.30	14	0.10	86	0.61	696	4.90	143	1.01	9	0.06	21	0.15	57	0.40	-	-
神奈川県	1733	5.17	39	0.19	210	1.02	929	4.51	276	1.34	16	0.08	52	0.25	126	0.61	1	0.00
新潟県	1482	14.97	24	0.40	119	1.98	256	4.27	108	1.80	3	0.05	3	0.05	29	0.48	-	-
富山県	683	14.23	4	0.14	42	1.45	195	6.72	57	1.97	6	0.21	11	0.38	16	0.55	-	-
石川県	649	13.52	1	0.03	55	1.90	280	9.66	50	1.72	3	0.10	3	0.10	12	0.41	-	-
福井県	700	21.88	18	0.82	34	1.55	237	10.77	36	1.64	1	0.05	5	0.23	12	0.55	-	-
山梨県	357	8.71	-	-	15	0.60	80	3.20	20	0.80	-	-	8	0.32	6	0.24	-	-
長野県	1143	12.99	2	0.04	64	1.16	333	6.05	85	1.55	1	0.02	1	0.02	25	0.45	1	0.02
岐阜県	890	10.60	9	0.17	24	0.45	148	2.79	60	1.13	-	-	3	0.06	20	0.38	-	-
静岡県	1293	9.44	23	0.27	64	0.74	540	6.28	189	2.20	16	0.19	20	0.23	76	0.88	-	-
愛知県	2329	11.94	25	0.14	129	0.71	740	4.07	266	1.46	15	0.08	14	0.08	110	0.60	2	0.01
三重県	857	11.74	15	0.33	36	0.80	376	8.36	85	1.89	10	0.22	11	0.24	33	0.73	-	-
滋賀県	590	11.57	1	0.03	18	0.55	116	3.52	45	1.36	7	0.21	-	-	24	0.73	-	-
京都府	864	7.14	3	0.04	29	0.39	389	5.19	96	1.28	10	0.13	3	0.04	17	0.23	-	-
大阪府	1524	5.29	27	0.14	187	0.94	970	4.90	212	1.07	54	0.27	30	0.15	96	0.48	-	-
兵庫県	1704	9.06	27	0.22	90	0.73	786	6.39	228	1.85	20	0.16	29	0.24	67	0.54	1	0.01
奈良県	464	8.59	7	0.21	42	1.24	145	4.26	42	1.24	2	0.06	2	0.06	13	0.38	2	0.06
和歌山県	469	9.38	3	0.10	17	0.55	138	4.45	59	1.90	24	0.77	8	0.26	10	0.32	-	-
鳥取県	329	11.34	1	0.05	39	2.05	178	9.37	41	2.16	11	0.58	4	0.21	12	0.63	-	-
島根県	289	7.81	2	0.09	18	0.78	179	7.78	28	1.22	4	0.17	2	0.09	18	0.78	-	-
岡山県	834	9.93	4	0.07	41	0.76	265	4.91	119	2.20	3	0.06	5	0.09	26	0.48	-	-
広島県	1128	9.40	10	0.13	57	0.76	568	7.57	92	1.23	21	0.28	12	0.16	32	0.43	3	0.04
山口県	885	12.64	12	0.24	81	1.65	418	8.53	103	2.10	2	0.04	17	0.35	29	0.59	-	-
徳島県	349	9.18	4	0.17	14	0.61	76	3.30	20	0.87	15	0.65	4	0.17	10	0.43	-	-
香川県	587	11.51	1	0.03	20	0.63	110	3.44	66	2.06	7	0.22	9	0.28	13	0.41	-	-
愛媛県	1068	16.69	5	0.13	50	1.28	252	6.46	44	1.13	16	0.41	-	-	26	0.67	-	-
高知県	621	12.67	5	0.16	46	1.48	165	5.32	40	1.29	9	0.29	7	0.23	17	0.55	-	-
福岡県	2098	10.60	24	0.20	167	1.39	850	7.08	295	2.46	30	0.25	129	1.08	120	1.00	1	0.01
佐賀県	328	9.37	2	0.09	32	1.39	136	5.91	58	2.52	15	0.65	22	0.96	22	0.96	-	-
長崎県	835	12.28	4	0.09	20	0.45	197	4.48	82	1.86	5	0.11	15	0.34	27	0.61	-	-
熊本県	857	10.71	8	0.17	57	1.19	338	7.04	90	1.88	3	0.06	8	0.17	36	0.75	-	-
大分県	883	15.22	2	0.06	48	1.33	331	9.19	122	3.39	3	0.08	5	0.14	23	0.64	-	-
宮崎県	682	11.56	12	0.33	66	1.83	519	14.42	140	3.89	7	0.19	3	0.08	38	1.06	-	-
鹿児島県	888	9.65	4	0.07	41	0.75	449	8.16	158	2.87	6	0.11	32	0.58	27	0.49	-	-
沖縄県	1965	33.88	-	-	9	0.26	36	1.06	179	5.26	9	0.26	3	0.09	13	0.38	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	18	0.01	240	0.08	8	0.00	3316	1.09	13	0.02	378	0.59	7	0.01	13	0.03	118	0.25
北海道	-	-	4	0.03	-	-	68	0.47	2	0.07	6	0.21	-	-	-	-	1	0.04
青森県	1	0.02	-	-	-	-	12	0.29	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.67
岩手県	-	-	-	-	-	-	14	0.37	-	-	4	0.33	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	2	0.03	5	0.08	2	0.03	19	0.31	2	0.17	6	0.50	-	-	-	-	5	0.42
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	9	0.26	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.38
山形県	-	-	2	0.07	-	-	39	1.30	-	-	4	0.50	-	-	-	-	4	0.40
福島県	-	-	3	0.06	-	-	30	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	-	-	3	0.04	-	-	38	0.51	-	-	17	1.06	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	19	0.41	-	-	3	0.25	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	1	0.02	6	0.10	-	-	36	0.58	-	-	25	1.79	-	-	1	0.10	11	1.10
埼玉県	1	0.01	16	0.10	1	0.01	186	1.16	-	-	11	0.30	-	-	-	-	1	0.13
千葉県	1	0.01	1	0.01	-	-	193	1.46	-	-	17	0.49	1	0.11	-	-	-	-
東京都	1	0.01	3	0.02	-	-	148	1.04	-	-	9	0.64	1	0.04	-	-	3	0.12
神奈川県	3	0.01	3	0.01	3	0.01	188	0.91	-	-	43	1.02	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	53	0.88	-	-	4	0.44	-	-	-	-	5	0.38
富山県	-	-	5	0.17	-	-	44	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	45	1.55	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00
福井県	-	-	-	-	-	-	81	3.68	-	-	-	-	1	0.20	3	0.60	3	0.60
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	12	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	34	0.62	-	-	4	0.36	-	-	1	0.09	2	0.18
岐阜県	-	-	23	0.43	-	-	71	1.34	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	-	-	134	1.56	-	-	7	0.35	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	-	-	8	0.04	-	-	231	1.27	-	-	25	0.71	1	0.08	-	-	13	1.00
三重県	-	-	2	0.04	-	-	57	1.27	-	-	3	0.25	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	30	0.91	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.14
京都府	1	0.01	2	0.03	-	-	78	1.04	-	-	4	0.22	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	11	0.06	-	-	182	0.92	-	-	19	0.37	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	6	0.05	-	-	86	0.70	3	0.09	13	0.38	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	4	0.12	1	0.03	46	1.35	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	14	0.45	-	-	44	1.42	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	4	0.21	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	8	0.35	-	-	3	0.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	4	0.07	-	-	25	0.46	-	-	12	1.00	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	-	-	-	-	142	1.89	-	-	23	1.15	-	-	-	-	7	0.37
山口県	-	-	-	-	-	-	35	0.71	-	-	17	1.89	-	-	-	-	16	1.78
徳島県	-	-	4	0.17	-	-	20	0.87	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	11	0.34	-	-	52	1.63	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	36	0.92	-	-	68	1.74	3	0.43	14	2.00	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	2	0.06	1	0.03	28	0.90	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	1	0.01	17	0.14	-	-	325	2.71	-	-	14	0.54	2	0.13	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	6	0.26	-	-	57	2.48	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
長崎県	-	-	3	0.07	-	-	67	1.52	-	-	15	1.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	1	0.02	9	0.19	-	-	108	2.25	-	-	10	1.11	1	0.07	7	0.47	2	0.13
大分県	-	-	4	0.11	-	-	24	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	-	-	62	1.72	-	-	13	3.25	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	-	-	40	0.73	-	-	5	0.71	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	-	-	-	-	29	0.85	2	0.20	9	0.90	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年13週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	7	0.01	-	-	60
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	10
神奈川県	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-
長野県	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	2	0.29	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	8

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年13週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第7巻 第13号 平成17年4月15日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。